

阪神淡路大震災の支援活動を行なっている NPO の会合が神戸でひらかれたついでに、以前から訪れたいと思っていた神戸市立小磯記念美術館にも行ってきました。

小磯良平は戦争画の巨匠の一人です。戦争画とは、満州事変から太平洋戦争中に国（軍部）の要請で描かせられた記録画のことで、藤田嗣治、宮本三郎、向井潤吉、中村研一、猪熊弦一郎、鶴田吾郎、川端龍子らが戦争画の巨匠として知られています。

戦後の混乱期、戦争画を描いた画家は戦争協力者として糾弾されました。結果的には GHQ によって戦犯とされた画家は一人もいませんでしたが、従軍画家の戦争協力の罪を問う声は根強く残っています。そのため、戦争画の公開を望まない画家（あるいは画家の遺族）は少なくなく、なかなか実物を観る機会に恵まれません。

折しも小磯記念美術館では「小磯良平の戦中・戦後」というテーマで、まさに私が興味を持っているジャンルの作品が展示されていました。

小磯は戦後、戦争画について口をひらくことはなかったといえます。戦争画は今も非常にデリケートな存在です。芸術作品として再評価しようという動きもあれば、糾弾する声も根強くあります。いずれ（あと 100 年もすれば）ゴヤの『マムルーク兵との戦闘』などと同じように、あるいは源平合戦を描いた屏風絵などのように歴史画として扱われるようになる日がくるかもしれません。

ひとつだけいえるのは、絵画に限らず、表現活動に権力が関与したとき、作者個人ばかりでなく、社会全体に深い傷を残すということです。付け加えるなら、こんにちの日本において、権力は国家権力と限りません。企業（スポンサー）も強い力を持っています。

私が放送局に勤めていたころ、原子力発電に反対あるいは疑義を持つ歌詞の楽曲を特集した番組が放送中止になったことがありました。もう 20 数年前の話ですが、3 月 11 日以降、似たようなことがまた起きています。表現の自由が憲法で守られているはずの日本で、なぜそういうことが起きるのか。そして、なぜそれが社会的な問題にならないのか。私には不思議です。

いしび

2011.9 Vol.106

平成 23 年 9 月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
HP もご覧ください!
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>
最新情報は blog でチェック!



《なでしこ》1982年 油彩・キャンバス 116.7×91 cm サトウ工記念21世紀美術館蔵

藤井勉展

— 生命と大地 —

- 会 期:2011年9月17日(土)~11月6日(日)
- 開館時間:9:00~17:00(入場は16:30まで) *会期中無休*
- 観覧料金:一般300円/大・高生200円/中学生以下無料

藤井勉展

— 生命と大地 —

会 期:2011年9月17日(土)~11月6日(日)
開館時間:9:00~17:00(入場は16:30まで) *会期中無休*
観覧料金:一般300円/大・高生200円/中学生以下無料

【関連行事】

- 藤井勉講演会 9/17(土)13:30~(聴講無料)
- オープニングパーティ 9/17(土)15:00~(参加費千円/美術館友の会主催)

1948年秋田県仙北郡仙南村(現・美郷町)に生まれた藤井勉氏は、岩手大学を卒業以来、岩手に拠点を置き、70年代半ばから自分の娘をモデルにした少女像を描き始めました。

空間を生かした精緻な描写、静かで詩的感性漂う少女の美は、高い評価を受けています。

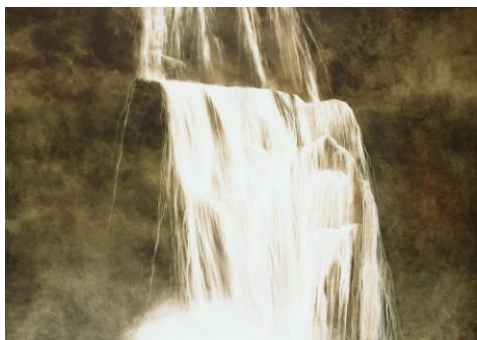
右《梢》 1980年 油彩・キャンバス
162×130.5cm 学校法人 佐藤栄学園蔵

下《天地》 2010年 油彩・キャンバス
227.3×181.8cm 個人蔵



現在、藤井氏は、小岩井農場近くに住み、自らが育てた植物や動物たちとともに暮らしながら、大地や生命を描き続けています。

この展覧会では、藤井氏のこれまでの作品および新作により、その画業を振り返ります。



石神の丘美術館 展覧会スケジュール

- ◇9/17(土)~11/6(日)
「藤井勉展—生命と大地—」
- ◇11/19(土)~12/25(日)
「収蔵品によるテーマ展」
- ◇2012.1/7(土)~29(日)
「岩手町小中学校・高校
絵画コンクール作品展」

※展覧会タイトルは仮称です。会期、内容は都合により変更する場合があります。

沼宮内駅 の 古い写真を探しています

これまで美術館では、町民の方からお借りした町の古い写真をシリーズでご紹介してきました。

今回のテーマは「沼宮内駅」。

明治24年に開業して以来、沼宮内駅は岩手町の歴史を見守ってきました。出征、集団就職、帰省、野菜等の出荷など、駅にはたくさんの人の思い出が詰まっています。

新幹線が開通する以前の沼宮内駅の写真(外観、ホームなど)をお持ちの方は、ぜひ美術館へご一報ください。

【お問い合わせ】

石神の丘美術館 (0195)62-1453

美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600まで

フリーマーケット in 道の駅石神の丘

10/8(土)、9(日)、10(月・祝)
10:00~16:00
道の駅イベント広場に開催



【出展者募集中】

詳しくは道の駅「石神の丘」へ
お問い合わせ下さい



復興支援 特別コース料理

3,500円(税込)

★食前酒orソフトドリンク★ほうれん草のムースとサーモンのマリネ〜トマトソース風味★うるいとねばり芋のピシソワーズ風〜コンソメゼリー添え★本日のお魚のポアレと季節野菜のコンポジション〜バルサミソース添え★やまと豚のやわらかコートレットと黒内豆腐のハンバーグ〜粒マスタードソース★季節のサラダ★パン or ライス★本日の自家製タルトにシャーベット・フルーツを添えて★コーヒーor紅茶各種

※上記のコース料理 3,500円(税込)から、500円を東日本大震災の義援金として寄付させていただきます。